## ①信頼済みサイトの設定

※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。 1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー〔ツール〕ー〔インターネットオプション〕①をクリックします。



- 2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。
  - (1) [セキュリティ]タブ①をクリックします。
    (2) [信頼済みサイト]②をクリックし、[サイト]ボタン③をクリックします。
    →2.1.信頼済みサイトダイアログ(1)へ
    (3) [レベルのカスタマイズ]ボタン④をクリックします。
    2.2.セキュリティ設定ー信頼されたゾーンダイアログ(1)へ
    (4) [OK]ボタン⑤をクリックします。



- 1. 信頼済みサイトダイアログにて以下の操作を行います。

   (1) [次のWebサイトをゾーンに追加する]欄①に下記「電子入札URL」に示すアドレスを一行ずつ入力します。
   (2) [追加]ボタン②をクリックし、[Webサイト]にURLが追加されたことを確認します。
   (3) 上記(1)~(2)を必要なURL分行います。

  - 電子入札URL 受注者: htt https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/
    - (入札情報公開システムを利用する場合のみ必要)
  - https://www.epi-asp.fwd.ne.jp/ (入札情報公開システムを利 (4)[閉じる]ボタン③をクリックします。(Internet Explorer6の場合は[OK]ボタン) →2. インターネットオプションダイアログ(3)へ

信頼済みサイト	X
このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーン べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。	ወ Web サイトす
この Web サイトをゾーン(ご追加する(D):	② 追加(A)
Web サイト( <u>W</u> ):	削版金(R)
	11194([5
■このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要とする(	s) <u>3</u>
	閉じる( <u>C</u> )

- 2.2. セキュリティ設定-信頼されたゾーンダイアログにて以下の操作を行います。
  - (1)[ポップアップブロックの使用]①を[無効にする]に変更します。
  - (2)[ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示]②を[有効にする]に変更します。 ※Internet Explorer 9以降にはこの設定項目が無いため、設定は不要です。
  - (3) [サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める]③が〔有効にする〕 であること確認します。
  - ※通常の初期設定は〔有効にする〕です。〔無効にする〕が選択されている場合は〔有効にする〕に変更してください。 (4) [OK]ボタン④をクリックします。
  - <u>→2. インターネットオプションダイアログ(4)へ</u>





セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン
設定
<ul> <li></li></ul>
<ul> <li>サーバーにファイルをアップロードするときにローカル ディレクトリのパスを含める</li> <li>無効にする</li> <li>有効にする</li> </ul>
□ サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する ○ 無効にする
<ul> <li>● 有30に9る</li> <li>● ドメイン間でのデータ ソースのアクセス</li> <li>● ダイアログを表示する</li> </ul>
<ul> <li>無効にする</li> <li>有効にする</li> </ul>
<ul> <li>□ ファイルのドラッグ/ドロップ、またはコピー/貼り付け</li> <li>○ ダイアログを表示する</li> <li>○ 第44/1000</li> </ul>
*Internet Explorer の再開後に有効になります。
カスタム設定のリセット
(4) OK キャンセル

- 3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。
- 以上で設定は終了です。

## ②Javaバージョン確認

・JAVAのバージョンは以下の方法でご確認ください。

1. 電子入札使用中にタスクバーや通知領域に表示されるJavaのアイコン①を右クリックし、〔コンソールを開く〕②をクリック

"

## <u>・通知領域の場合</u>



2. 画面に表示されるバージョン①を確認します。



## ③IEキャッシュクリア手順

・設定手順はバージョンにより異なります。以下のご利用のバージョンの手順をご参照ください。 ※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

- A. Internet Explorer 7 の場合
- B. Internet Explorer 8 の場合
- C. Internet Explorer 9 の場合
- D. Internet Explorer 10およびInternet Explorer 11 の場合

## A. Internet Explorer 7 の場合

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

```
(1)メニューバー[ツール]-[インターネットオプション]①をクリックします。
```



- インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。
   (1) [全般]タブ①をクリックします。
   (2) 「閲覧の履歴」にある[削除]ボタン②をクリックします。
  - →2.1.閲覧の履歴の削除ダイアログ(1)へ (3)[OK]ボタン③をクリックします。 以上で設定は終了です。 インターネット オプション

全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
①ホーム ページ
about:blank
現在のページを使用( <u>C</u> ) 標準設定( <u>F</u> ) 空白を使用( <u>B</u> )
閲覧の履歴 一時ファイル、履歴、Cookie、保存されたパスワード、および Web フォーム の情報を削除します。
2 削除( <u>D</u> )
検索の既定の動作を変更します。 設定(1)
タブ タブの中の Web ページの表示方法を設定しま 設定(T)
デザイン
色(Q) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E)
③ OK 道用(A)

? X

覚の履歴の	削除	CONTRACTOR OF	Renative Service	X
<b>インターネ</b> 表示の高述 ジおよびメ	<b>ット→時ファイル</b> 速化のために保存された ディアのコピーです。	Web ページ、イメー	ファイルの削除( <u>F</u> ).	1
Cookie ログイン情報 ンピュータ(2	報などを保存するために ' 「格納されたファイルです。	Web サイトによってコ	Cookie の削除( <u>O</u> )	2
<b>履歴</b> 閲覧した V	Web サイトの一覧です。		履歴の削除(日)	
<b>フォーム</b> う フォーム(こ)	<b>データ</b> 、力して保存された情報	です。	フォームの削除( <u>E</u> )	

1.1.ファイルの削除ダイアログにて以下の操作を行います。
 (1)[OK]ボタン①をクリックします。

→2.1.閲覧	の履歴の削除ダイアロ	コグ(2)へ
ファイルの削除		X
Interr すか?	net Explorer の→時ファイル	をすべて削除しま
		いいえ( <u>N</u> )

2. 1. 2. ファイルの削除ダイアログにて以下の操作を行います。 (1)[OK]ボタン①をクリックします。

→2. 1	. 閲覧の履歴の削除ダイアログ	(3)へ
Cookie の背	削除	×
[Temporary Internet Files] フォルダにあるす Cookie を削除しますか?		にあるすべての
		いいえ( <u>N</u> )

## B. Internet Explorer 8 の場合



2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。 (1)[全般]タブ①をクリックします。 (2)「閲覧の履歴」にある[削除]ボタン②をクリックします。 →2.1.閲覧の履歴の削除ダイアログ(1)へ (3)[OK]ボタン③をクリックします。 以上で設定は終了です。 インターネット オプション

全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
①ホーム ページ
about:blank
現在のページを使用(C) 標準設定(F) 空白を使用(B) 閲覧の履歴
○ 「「「「「「「」」」」」」 ○ 「「「「「「「」」」」 ○ 「「「「「」」」」 ○ 「「「「」」」 ○ 「「「」」」 ○ 「「」「」」 ○ 「」」 ○ 「」」 ○ 「」 ○ 「」」 ○ 「」<
タブの中の Web ページの表示方法を設定しま 設定(T) す。 デザイン
色(O) 言語(L) フォント(N) ユーザー補助(E)
3 OK キャンセル 適用(A)

? 🗙

2.	<ol> <li>閲覧の履歴の削除ダイアログにて以下の操作を行います。</li> <li>(1)「インターネットー時ファイル」チェックボックス①をチェックします。</li> <li>(2)「Cookie」チェックボックス②をチェックします。</li> <li>(3)〔削除〕ボタン③をクリックします。</li> <li>→2. インターネットオプションダイアログ (3)へ</li> </ol>
	閲覧の履歴の削除
	お気に入り Web サイト データを保持する(R) お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするため に使用される、Cookie とインターネットー時ファイルを保持します。
	✓ インターネットー時ファイル(T)     1     1     信頼をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディアの     コピーです。     コピーです。     ・     が     ・      ・     ・
	✓ Cookie(O) 2 ログイン情報などの基本情報を保存するために Web サイトによってコンピューター に格納されたファイルです。
	■ 履歴(H) 閲覧した Web サイトの一覧です。
	□ フォーム データ(F) フォームに入力した情報を保存したものです。
	パスワード(P) 以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力される ように、パスワード情報を格納したファイルです。
	InPrivate フィルター データ(1) InPrivate フィルターが使用するデータ(閲覧した情報を自動的に流出させている可能 性がある Web サイトを検出するため)を保存したものです。
	閲覧の履歴の削除についての詳細 3 削除(D) キャンセル

## C. Internet Explorer 9 の場合

- Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

   (1)メニューバー[ツール]-[インターネットオプション]①をクリックします。



- 2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。 (1)[全般]タブ①をクリックします。
   (2)「閲覧の履歴」にある[削除]ボタン②をクリックします。
   →2.1.閲覧の履歴の削除ダイアログ (1)へ
  - (3)[OK]ボタン③をクリックします。 以上で設定は終了です。

	インターネット オプション 🔹 💽 🗾 😪
	全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
Ф	ホーム ページ
	複数のホーム ページのタブを作成するには、それぞれのアドレスを行で分けて 入力してください(B)
	about:blank
	現在のベージを使用(ロ) 標準設定(D) 空日を使用(ロ)
	「現見のMazzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzzz
	の情報を削除します。
	<ul> <li>終了時に閲覧の履歴を削除する(<u>W</u>)</li> </ul>
	② <u>削除(D)</u> 設定(S)
	(2.ネ 検索の既定の動作を変更します。 設定(1)
	タフ
	デザイン
	色( <u>O</u> ) 言語( <u>L</u> ) フォント( <u>N</u> ) ユーザー補助( <u>E</u> )
	30K キャンセル 適用(A)

- 1. 閲覧の履歴の削除ダイアログにて以下の操作を行います。
   (1)「インターネットー時ファイル」チェックボックス①をチェックします。
   (2)「Cookie」チェックボックス②をチェックします。
   (3)〔削除〕ボタン③をクリックします。
   →2. インターネットオプションダイアログ (3)へ

閲覧の履歴の削除
お気に入り Web サイト データを保持する(R) お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするため に使用される、Cookie とインターネット一時ファイルを保持します。
I
○ Cookie(O) □クイン情報などの基本情報を保存するために Web サイトによってコンピューター に格納されたファイルです。
■ 履歴(H) 閲覧した Web サイトの一覧です。
ダウンロードの履歴(単) ダウンロードしたファイルの一覧です。
□ フォーム データ(E) フォームに入力した情報を保存したものです。
パスワード(P) 以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるように、 パスワード情報を格納したファイルです。
■ ActiveX フィルターと追踪防止のデータ(K) フィルター処理から除外される Web サイトの一覧と、閲覧した情報を自動的に流出させている可能性がある Web サイトを検出するために追踪防止が使用するデータです。
閲覧の履歴の削除についての詳細 3 削除(D) キャンセル

## D. Internet Explorer 10およびInternet Explorer 11 の場合

Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

 (1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。

			⊳≁≙୯	8 Google		×
(A)	ツール	/(T)	ヘルプ(H)	-		
	閌	調雇	歴の削除(D)		Ctrl+Shift+Del	
	Ir	nPriva	ate ブラウズ(I)		Ctrl+Shift+P	
	道	自跡防	止を有効にする(K)			
	A +=	ctive ≖≪≠∽	X ノイルター(X) 明瞭を位正(c)			
	13	認知の	回題で18年(C)… 暫わッションを再度歴	1< (5)		
	7	スター	トメニューにサイトを	を追加(M)		
	5	ブウン	ロードの表示(N)		Ctrl+J	
	オ	パップ	アップ ブロック(P)			
	s	mart	Screen フィルター機	能(T)	1	
	ア	マドオ	ンの管理(A)			
	E	ī換表	示設定(B)			
	2	このフ	ィードの受信登録(F).			
	7	フィー	ド探索(E)		I	
	N	Vindo	ws Update(U)			
	1	ペフォ	ーマンス ダッシュボ-	- K	Ctrl+Shift+U	
	E	12 開	発者ツール(L)			
	W	Veb 🕇	サイトの問題を報告(R)			
	1	インタ	ーネット オプション(	0)		

- インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。
   (1)〔全般〕タブ①をクリックします。
  - (2)「閲覧の履歴」にある[削除]ボタン②をクリックします。
     →2.1.閲覧の履歴の削除ダイアログ(1)へ
     (3)[OK]ボタン③をクリックします。
  - (3)[0K]小ダン(3をワリ)





## ④JARキャッシュクリア手順

・JARキャッシュは以下の手順でクリアしてください。

## <u> - JRE7またはJRE8の場合</u>

- 1.「スタート」ボタンを押してコントロールパネルをクリックします。 2.「Java」をダブルクリックします。
- 2.「Java」をダブルクリックします。 ※カテゴリ表示になっている場合には、 左側の「クラシック表示」(WindowsXPの場合は「クラシック表示に切り替える」)をクリックして表示してください。 Windows7のカテゴリ表示の場合は「プログラム」をクリックした後の画面に表示されます。

	マル・プログラム・ ・ チョ コントロール パネルの… ノ	ρ	
コントロール パネル ホーム	既定のプログラムの設定	^	
システムとセキュリティ ネットワークとインターネッ ト	ガジェットをデスクトップに追加   オンラインで追加のガジェットを取得   ガジェットのアンインストール		
ハードウェアとサウンド	Windows によりインストールされたデスクトップ ガジェット		
<ul> <li>プログラム</li> <li>パー・・・・</li> </ul>	Java	-	

Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。
 (1)[一般]タブ①をクリックします。

(2)「インターネットー時ファイル」にある〔設定〕ボタン②をクリックします。
→3.1. 一時ファイルの設定ダイアログ (1)へ
(3)「インターネットー時ファイル」にある〔表示〕ボタン③をクリックします。
→3. 2. Javaキャッシュビューアダイアログ (1)へ
(A) [OK] # a har

、サルロペリホタン(4)をクリックします。 以上で設定は終了です。

Savaコントロール・パネル
一般 更新 Java セキュリティ 詳細
() パージョン情報
Javaコントロール・パネルについてのバージョン情報を表示します。
バージョン情報( <u>B</u> )
ネットワーク設定
ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウザのネッ トワーク設定を使用します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。
ネットワーク設定(N)
インターネット一時ファイル
Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別な フォルダ内に格納されます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーの みです。
ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照
④ OK 取消 適用(A)

<ol> <li>3.1. 一時ファイルの設定ダイアログにて以下の操作を行います。</li> <li>(1)[ファイルの削除]ボタン①をクリックします。</li> <li>→3.1.1. 一時ファイルの削除ダイアログ (1)へ</li> </ol>
(2) $[OK]$ ボタン②をクリックします。 $\rightarrow$ 3. Java コントロールパネル (3)へ
ー時ファイルの設定
▼ コンピュータに一時ファイルを保持する(K)
場所 →時ファイルを保持する場所を選択してください:
D211091¥AppData¥LocalLow¥Sun¥Java¥Deployment¥cache 変更(出)
ディスク領域 JARファイルの圧縮レベルを選択してください: なし ▼
一時ファイルを格納するため、ディスク領域を設定します:
32768 🚔 MB
1 ファイルの削除(D) デフォルトに戻す(R)
② OK 取消

1.1.一時ファイルの削除ダイアログにて以下の操作を行います。
 (1)「インストールされたアプリケーションおよびアプレット」チェックボックス①にチェックつけます。
 (2)[OK]ボタン②をクリックします。

→3.1.一時ファイルの設定ダイアログ(2)へ
ファイルおよびアプリケーションの削除
次のファイルを削除しますか。
☑ トレースおよびログ・ファイル
☑ キャッシュされたアプリケーションおよびアプレット
① ▼ インストールされたアプリケーションおよびアプレット
② <b>OK</b> 取消

3. 2. Javaキャッシュビューアダイアログにて以下の操作を行います。 (1)一覧に何もないことを確認し、〔閉じる〕ボタン①をクリックします。 →3 Java コントロールパネル (4)へ

	$\nu n n \nu (4) n$				
🛓 Javaキャッシュ・ビューア					×
表示: アブリケーション 🔹		אגער 🏫	-ル済サイズ: O.D K	B - キャッシュ済	サイズ: 0.0 KB
アプリケーション	ベンダー	タイプ	日付	サイズ	状態
				1	

## ⑤javaConsoleの取得手順

1. 下記に示すようなエラーが画面上に表示されている状態で、キーボードの「PrintScreen」キーを押下し、 画面ハードコピーを取得します。



2. WordやExcelを開き画面内で右クリックをし、「貼り付け」をクリックします。(画面のハードコピーが貼付されます。) 3. 電子入札使用中にタスクバーや通知領域に表示されるJavaのアイコン①を右クリックし、〔コンソールを表示〕②をクリック



## <u>・通知領域の場合</u>



Javaテクノロジについて(A)	
Java.comにアクセスする(G)	
コントロール・パネルを開く(0) 2	
1.7.0_15コンソールを開く(C)	
アイコンを表示しない(H)	

## 4. エラーメッセージの[了解]ボタン①をクリックします。 -ロメ



## 5. Java Consoleの[コピー]ボタン①をクリックします。

🌺 Java Console 📃 🗆 🗙
jp.or.jacic.ebidfw.common.exception.ComponentException: jp.or.jacic.ebidfw.
java.security.cert.CertificateException: EbPKCS12EncryptionU
at jp.or.jacic.ebidfw.common.utility.crypto.EbEncryptionMessa
at jp.or.jacic.ebidfw.common.utility.crypto.EbDefaultUsefulEn
at jp.or.jacic.ebidfw.common.utility.crypto.EbDefaultUsefulEn
at jp.or.jacic.ebidfw.applet.command.EbDefaultCommand.sa
at jp.or.jacic.ebidfw.applet.command.EbDefaultCommand.si
at jp.or.jacic.ebidfw.applet.command.EbDefaultCommand.si
at jp.or.jacic.ebidfw.applet.command.EbRandomKeySignCor
at jp.or.jacic.ebidfw.applet.command.EbRandomKeySignCor
at jp.co.nec.ome.plugin.applet.CommandDispatcher.execute
at jp.co.nec.ome.plugin.applet.CommandDispatcher.execute
at jp.co.nec.ome.plugin.applet.DispatcherThread.execute(Dis
at jp.co.nec.ome.plugin.applet.DispatcherThread.run(Dispatc
2006-08-11 19:28:01,730 - [DispatcherApplet] cancelPinDialog()を実行しまし
2006-08-11 19:28:01,750 - PINの入力がキャンセルされました。
2006-08-11 19:28:01,750 - command: closeConsole
消去 コピー 閉じる

6. WordやExcelを開き画面内で右クリックをし、「貼り付け」をクリックします。(Java Console内のログが貼付されます。)

## ⑥アドオンの無効化手順

・設定手順はバージョンにより異なります。以下のご利用のバージョンの手順をご参照ください。

- A. Internet Explorer 7 の場合
- B. Internet Explorer 8 の場合
- C. Internet Explorer 9 の場合
- D. Internet Explorer 10およびInternet Explorer 11 の場合

## A. Internet Explorer 7 の場合

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

```
(1)メニューバー〔ツール〕ー〔アドオンの管理〕-〔アドオンを有効または無効にする〕①をクリックします。
```



2. 1. アドオンの管理ダイアログにて以下の操作を行います。
 (1)[OK]ボタン①をクリックします。
 →2 アドオンの管理ダイアログ (3)へ

アドオンの管理			×
変更を有効にするには、	Internet Explorer を再実	行する必要のある可能性があ	5ります.
			ĸ

3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。

## B. Internet Explorer 8 の場合

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

	- 0
(下図の左右どちらからでも結構です。)	

🩋 空白のページ - Windows Internet Ex	plorer 🗧	
🕞 🕞 🗢 🙋 about:blank	Google	<b>P</b> -
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A 閲覧の履歴の削除(D) Ctrl+Shift+Del InPrivate ブラウズ(D) Ctrl+Shift+P 最終閲覧セッションを再度開((S))	<ul> <li></li></ul>	@• »
InPrivate フィルター Ctrl+Shift+F InPrivate フィルター設定( <u>S</u> )	ボッブアップ ブロック(P)     (1)     マドオンの管理(A)	<b>1</b> % -
ポップアップ ブロック(P) SmartScreen フィルター機能(T) (1 アドオンの管理( <u>A</u> )	★ オフライン作業(W) ※ 互換表示(V) 互換表示設定(B)	
互換表示( <u>V</u> ) 互換表示設定( <u>B</u> )	ご 全画面表示(E)             F11             ツール バー(T)	
このフィードの購読(E) フィード探索(E) Windows Update( <u>U</u> )	▶ エクスプローラー バー⊗ ▶           (1) 開発者ツール(D)         F12	
開発者ツール(L) F12	おすすめサイト(④)	
Windows Messenger Display ieHTTPHeaders 接続の問題の診断	Windows Messenger Display ieHTTPHeaders 接続の問題の診断	
インターネット オプション(型)		

Internet Explorer アドオンの表示						
	テと管理 しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん					
アドオンの種類	名前	発行元	状態	ファイル日付	バージョン	読み込み ^
あいソールパーと拡張機能(T)	(確認されていません) (株)日立	情報システムズ ―――				
	GetPCInfo Control	(確認されていません) …	有効	2009/08/27 15:11	1.1.0.7	
	Adobe Systems, Incorporated –					E
■ アクセラレータ(A)	Adobe PDF Link Helper	Adobe Systems, Inco	有効	2010/09/22 18:04	9.4.0.195	0.01 秒
∛@ InPrivate フィルター(I)	Microsoft Corporation					
	リサーチ(R)	Microsoft Corporation	有効	2009/03/06 4:04	12.0.6423.0	0
ก	SharePoint Export Database	Microsoft Corporation	有劲	2009/03/06 4:23	12.0.642	
	Windows Media Player	Microsoft Corporation	有効	2010/09/01 13:29	12.0.760	
表示:	Sun Microsystems, Inc.					
<u>すべてのアトオン</u> ▼	•					•
Windows Media Player						
Microsoft Corporation						
バージョン: 12.0.7600.1666	7	種類:	ActiveX ⊐	ントロール		
ファイル日付:		既定の検索プロバ	イダーでこのフ	7ドオンを検索(C)		
詳細情報(R)						_
						3
						めにする(B)
	-)					
追加のツール バーと拡張機能を検系(F ツール バーと拡張機能の詳細(N)	F)				l	閉じる(L)
	リサーチ(R)	Microsoft	有効	2009/03/06 4:04	12.0.6423.0	E
(I)	SharePoint C.	Microsoft Corporation	<u>有效</u> 4	2009/03/06 4:23	12.0.642	
	Windows Media Player	Microsoft Corporation				
		Microsoft Corporation	無効	2010/09/01 13:29	12.0.760	
	Sun Microsystems, Inc. ———	Microsoft Corporation	無効	2010/09/01 13:29	12.0.760	
÷=.	Sun Microsystems, Inc Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel	Sun Microsystems, Inc.	無効	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14	<ul><li>12.0.760</li><li>6.0.170.4</li></ul>	0.53 秒
表示:	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17	Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc.	無効 有効 有効	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒
表示: 「すべてのアドオン ・	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17	Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc.	無効 有効 有効	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒
表示: すべてのアドオン Windows Media Player	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17	Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc.	<u>無効</u> 有効 有効	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒
表示: すべてのアドオン ・ Windows Media Player Microsoft Corporation	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17 <	Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc. III	有効有効	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒
表示: すべてのアドオン ・ Windows Media Player Microsoft Corporation パージョン: 12.0.7600.16667	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17 <	The conduct composition and the composition of the	無効 有効 有効 ActiveX コン	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒
表示: マペてのアドオン ・ Windows Media Player Microsoft Corporation バージョン: 12.0.7600.16667 ファイル日付:	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17 <	Microsoft Conportion Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc. 町 町 電気: 既定の検索プロバー	無効 有効 ActiveX コン イダーでこのア	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14 ントロール ドオンを検索(C)	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒 •
表示: すべてのアドオン ・ Windows Media Player Microsoft Corporation バージョン: 12.0.7600.16667 ファイル日付: 詳細情報(R)	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17 <	Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc. 町 町 種類: 既定の検索プロバ・	無効 有効 ActiveX コン イダーでこのア	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14 ントロール ドオンを検索(C)	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒
表示: すべてのアドオン ・ Windows Media Player Microsoft Corporation パ(ージョン: 12.0.7600.16667 ファイル日付: 詳細情報(R)	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17 <	Microsoft Corporation Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc. 部 部 型類: 既定の検索プロバイ	無効 有効 有効 ActiveX コン イダーでこのア	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒
表示: すべてのアドオン	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17 <	Autosoft Corporation Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc. 部 部 電気: 既定の検索プロバー	無効 有効 有効 ActiveX コン イダーでこのア	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒 ・
表示: すべてのアドオン	Sun Microsystems, Inc. Java(tm) Plug-In 2 SSV Hel Java Plug-in 1.6.0_17	Windosoft Corporation Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc. 部 部 理項: 既定の検索プロバイ	無効 有効 有効 ActiveX コン イダーでこのア	2010/09/01 13:29 2010/10/06 15:14 2010/10/06 15:14	12.0.760 6.0.170.4 1.6.0.17	0.53 秒 ・ カにする(E)

3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。

- C. Internet Explorer 9 の場合
- 1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。 (1)メニューバー[ツール]-[アドオンの管理]①をクリックします。

	ρ.	ς×	<i> 空白のページ</i>		×		
り( <u>A</u> )	ツール(	) ^	ルプ(出)				
	閲覧	この履歴	の削除(D)		Ctrl+	Shift+	Del
	InF	rivate	ブラウズ <b>(I)</b>		Ctr	+ Shift	:+P
	追問	₩防止 <b>(</b> )	g				
	Act	iveX 🗆	イルター(X)				
	接續	もの問題	を診断(C)				
	最新	閲覧セ	:ッションを再度開く(S)				
	スタ	アートン	メニューにサイトを追加(	M)			
	ダワ	シロー	·ドの表示(N)			Ctr	l+]
	ポッ	ノプアッ	プ ブロック <b>(P)</b>			~	•
	Sm	artScr	een フィルター機能(T)			(1)	+
	P	ドオンの	)管理(A)				
	互担	表示(\	0				
	互担	表示設	定(B)				
	20	)フィー	・ドの購読(F)				
	7-	/一ド探	[索(E)				÷
	Wi	dows	Update(U)				
	F13	開発君	fツール(L)				
	10	/ターネ	シット オプション(0)				

- アドオンの管理ダイアログにて以下の操作を行います。
   (1)[表示]プルダウン①より[すべてのアドオン]を選択します。
  - (2)一覧より問題を引き起こしていると思われるアドオン②を選択し、〔無効にする〕ボタン③をクリックします。

  - (2) 「見より同題を与さ起こしていると忘われるアドオン(ごを選択し、「無効にする」バタン(③をクリックします。
     (3) 選択したアドオンの[状態]が[無効]④になっていることを確認してください。
     (4) ほかにも問題を引き起こしていると思われるアドオンがある場合、(2)~(3)の手順を繰り返します。
     ただし、「Java Plug-in」から始まるアドオンおよび「SunのJavaコンソール」は電子入札で使用しているため、無効にしないでください。
     無効にすべきアドオンがわからない場合は「Java Plug-in」から始まるアドオン
  - および「SunのJavaコンソール」**以外**をすべて無効にしてください。 (5)上記手続きが完了したら[閉じる]ボタン⑤をクリックします。

アドオンの管理						(	×
Internet Explorer アドオンの表	示と管理						
アドオンの種類	名前 Microsoft Comparation	発行元	状態	読み込み	ナビゲー	2	
◎ ジール バーと拡張機能(I) 夕検索プロバイダー(S)	Windows Media Player	Microsoft Corporation	有効				
図 アクセラレータ(A) ◎追跡防止(K)	Java(tm) Plug-In 2 SSV Helper Java Plug-in 1.6.0_17	Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc.	有効 有効	0.15 秒			
	Java Plug-in 1.6.0_17 Java Plug-in 1.6.0_17	Sun Microsystems, Inc. Sun Microsystems, Inc.	有効 有効				
1							
表示: 「すべてのアドオン ◆							
Windows Media Player Microsoft Corporation							
バージョン: 12.0.7601.1751 ファイル日付: 詳細情報( <u>R</u> )	4	種類: ActiveX コントロ- 既定の検索プロバイダーでこのアドオン	ール ッを検索( <u>C</u> )				
						動にする(	<b>3</b> B
追加のツール バーと拡張機能を検索 ツール バーと拡張機能の詳細( <u>N</u> )	(E)					閉じる(	IJ

アドオンの管理							×
Internet Explorer アドオンの表	示と管理						
アドオンの種類	名前		発行元	状的	読み込み	ナビゲー	
☆ ツール バーと拡張機能(T)	Microsoft Corporation			<u> </u>			
○ 検索プロバイダー(S)	Windows Media Player		Microsoft Corporation	無効			
	Sun Microsystems, Inc.						
	Java(tm) Plug-In 2 SSV Helper		Sun Microsystems, Inc.	有効	0.15 秒		
	Java Plug-in 1.6.0_17		Sun Microsystems, Inc.	有効			
	Java Plug-in 1.6.0_17		Sun Microsystems, Inc.	有効			
	Java Plug-in 1.6.0_17		Sun Microsystems, Inc.	有効			
表示:							
<u></u> ₹<<  							
Windows Media Player							
Microsoft Corporation							
バージョン: 12.0.7601.17514	ŧ	種類:	ActiveX コントロー	-16			
ファイル日付:		既定の検索	プロバイダーでこのアドオン	を検索( <u>C</u> )			
詳細情報(R)							
						有	滅にする。
追加のツール バーと拡張機能を検索(	E)					ſ	
ツール バーと拡張機能の詳細( <u>N</u> )							閉じる(止)

3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。

- **D. Internet Explorer 10およびInternet Explorer 11 の場合** 1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。
- (1)メニューバー[ツール]-[アドオンの管理]①をクリックします。

		ပ → 🔒 ငံ 😵 Googl	e	×
(A)		-ル(T) ヘルプ(H)		
		閲覧履歴の削除(D)	Ctrl+Shift+Del	1
		InPrivate ブラウズ(I)	Ctrl+Shift+P	
		追跡防止を有効にする(K)		
		ActiveX フィルター(X)		
		接続の問題を修正(C)		
		最終閲覧セッションを再度開く(S)		
		スタート メニューにサイトを追加(M)		
		ダウンロードの表示(N)	Ctrl+J	
		ポップアップ ブロック(P)	•	
	_	SmartScreen フィルター機能(T)	+	
		アドオンの管理(A)		
		互换表示設定(B)		
		このフィードの受信登録(F)		
		フィード探索(E)	+	ſ
		Windows Update(U)		ł
		パフォーマンス ダッシュボード	Ctrl+Shift+U	
		F12 開発者ツール(L)		
		Web サイトの問題を報告(R)		
		インターネット オプション(0)		

- - および「SunのJavaコンソール」以外をすべて無効にしてください。 (5)上記手続きが完了したら[閉じる]ボタン⑤をクリックします。

7ドオンの管理				
Internet Explorer アドオンの表示と	管理			
アドオンの種類	名前 Adobe Systems Incorporated —	発行元	状態	アーキテ ^
₩ツール バーと拡張機能(T)	Shockwave Flash Object	Adobe Systems Incorporated	有効	32 ビット
ノ検索プロバイター(S)	Microsoft Corporation —			
アクセラレータ(A)	Office Document Cache Han	Microsoft Corporation	無効	32 ビット
追跡防止(K)	XML DOM Document	Microsoft Corporation	有効	32 ビット
スペルの修正(C)	SharePoint Export Database	Microsoft Corporation	有効	32 ビット
<u>π:</u> U	SharePoint OpenDocuments	Microsoft Corporation	有効	32 ビット
べてのアドオン 🔻	<			
lockwave Flash Object lobe Systems Incorporated				
ージョン: 13.0.0.214	種類:	ActiveX コントロール		
アイル日付: 2014年6月4日、9:58	既定の検索	プロバイダーでこのアドオンを検索	蒂(C)	
海情報(R)			3	無効にする(B)
動のツール バーと拡張機能を検索( ノール バーと拡張機能の詳細(N)	F)			閉じる(L)

アドオンの管理				×
Internet Explorer アドオンの表示と	管理			
アドオンの種類	名前	発行元	状態	アーキテ ^
◎ ツール バーと拡張機能(T)	Adobe Systems Incorporated			
● 検索プロバイダー(S)	Shockwave Flash Object	Adobe Systems Inco	orporated 無効	32 ビット
	Microsoft Corporation ———			
	Office Document Cache Han	Microsoft Corporatio	n 無効	32 ビット
	XML DOM Document	Microsoft Corporatio	n 有効	32 ビット
→ 人へ)Lの修正(C) +-	SharePoint Export Database	Microsoft Corporatio	n 有効	32 ビット
表示:	SharePoint OpenDocuments	Microsoft Corporatio	n 有効	32 ビット
J ~ (の) トオン →	<			•
Shockwave Flash Object Adobe Systems Incorporated				
パージョン: 13.0.0.214	種類:	ActiveX コントロー	·JL	
ファイル日付: 2014年6月4日、9:58	既定の検知	索プロバイダーでこのアド	・オンを検索(C)	
詳細情報(R)				
				有効にする(E)
追加のツール バーと拡張機能を検索( ツール バーと拡張機能の詳細(N)	F)			⑤ 閉じる(L)

3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。

## ⑦サードパーティー製ブラウザ拡張機能の無効化

※この設定を行うと、InternetExplorerにインストールされたツールバー等が全て無効になります。 電子入札システム以外のサイトをご利用の際に不具合が発生する場合は、 本設定手順にて2. インターネットオプションダイアログ (2)の操作を以下に置き換えて行ってください。

「(2)〔サードパーティー製のブラウザ拡張を有効にする(再起動が必要)〕②をチェックします。」

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。 (1) メニューバー(ツール)ー(インターネットオプション)①をクリックにます

a	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り( <u>A</u> )	<u> ツール① ヘルプ(H)</u>
🔇 हड - 🐑 💌 😰 🏠 🔎 व	メールとニュース(M) ・ ボッブアップ ブロック(P) アドオンの管理(A)
アドレス(①) 🗃 http://	同期(S) Windows Update(U)
	インターネット オブション(型)

- 2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。
  - (1)[詳細設定]タブ①をクリックします。
  - (2) [サードパーティー製のブラウザ拡張を有効にする(再起動が必要)]②のチェックを外します。 (3) [OK] ボタン③をクリックします。



3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。

## ⑧互換表示設定

・設定方法は2種類あります。ご都合に合わせて以下のどちらかの設定を行ってください。

ただし、Internet Explorer11の場合は、「B.特定のサイトに対してのみ互換表示を行う。」の設定を行ってください A.全てのWebサイトに対して互換表示を行う。

→全てのWebサイトが互換表示(Internet Explorer 7と同じ表示)となります。 以降、他団体の電子入札システムを利用する際も設定する必要はありません。

## B.特定のサイトに対してのみ互換表示を行う。

→本電子入札システムサイトのみ互換表示(Internet Explorer 7と同じ表示)となります。 登録したサイト以外についてはInernet Explorer 8/9/10/11準拠の表示となります。 他団体の電子入札システムを利用する際は利用団体毎に設定が必要です。

## A.全てのWebサイトに対して互換表示を行う。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

<u>
Internet Explorer8 の場合</u>
(1)メニューバー[ツール]ー[互換表示設定]①をクリックします。
\_\_\_\_(下図の左右どちらからでも結構です。)

🌈 空白のページ - Windows Internet Expl	lorer 📃	
🕞 🕞 🗢 🖻 aboutblank	Google	•
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気(こ入り(A)       閲覧の履歴の削除(D)     Ctrl+Shift+Del       InPrivate ブラウズ(D)     Ctrl+Shift+P       最終閲覧セッションを再度開((S)	ツール① ヘルブ(!) ▲ ・ ページ(!)・ セーフティ(S)・ ツール(!)・ ▲ ・ ページ(!)・ セーフティ(S)・ ツール(!)・ (!) 最終開覧セッションを再度間('S)	@• »
InPrivate フィルター Ctrl+Shift+F InPrivate フィルター設定(S)	■ ポップアップ ブロック(P) → ■ アドオンの管理(A)	<mark>∼</mark> % -
ポップアップ ブロック(P) SmartScreen フィルター機能(T) アドオンの管理(A)		
互換表示設定(B)	<ul> <li>ご 全画面表示(E)</li> <li>F11</li> <li>ツール バー(T)</li> </ul>	
このフィードの購読(E) フィード探索(E) ▶ Windows Update(U)	エクスプローラー バー公 →    ▲> 開発者ツール(型)   F12	
開発者ツール(L) F12	おすすめサイト( <u>G</u> )	
Windows Messenger Display ieHTTPHeaders 接続の問題のi診断	Windows Messenger Display ieHTTPHeaders 接続の問題の診断	
インターネット オブション(型)	☆ インターネット オブション(型)	

## <u> Internet Explorer9/10 の場合</u> (1)メニューバー[ツール]ー[互換表示設定]①をクリックします。



2. 互換表示設定ダイアログにて以下の操作を行います。

<u>•Internet Explorer8/9 の場合</u> (1)〔互換表示で全てのWebサイトを表示する〕①をチェックします。 (2)〔閉じる〕ボタン②をクリックします。

互換表示設定	
互換表示で表示する Web サイトを追加および削除でき	ます。
この Web サイトの追加( <u>D</u> ):	
	追加( <u>A</u> )
互換表示に追加した Web サイト(W):	
	削除( <u>R</u> )
✓マイクロソフトからの更新された Web サイト一覧を含める(U)	
□ 互換表示でイントラネット サイトを表示する Φ	
⊻	2
	閉じる( <u>C</u> )

<u>-Internet Explorer10 の場合</u> (1) [互換表示で全てのWebサイトを表示する]①をチェックします。 (2) [閉じる]ボタン②をクリックします。\_\_\_\_\_\_

互换表示設定
互換表示で表示する Web サイトを追加および削除できます。
追加する Web サイト(D):
互換表示に追加した Web サイト(W):
☑ すべての Web サイトを互換表示で表示する(E) 1
✓ イントラネット サイトを互換表示で表示する(I)
☑ Microsoft から更新された互換性リストをダウンロードする(U)
Internet Explorer のフライバシーに関する声明を読んで詳細を確認する
していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい

3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。

## B.特定のサイトに対してのみ互換表示を行う。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

# <u> •Internet Explorer8 の場合</u> (1)メニューバー[ツール]ー[互換表示設定]①をクリックします。 (下図の左右どちらからでも結構です。)

(下回の江口とうらからして		
🌈 空白のページ - Windows Internet	Explorer 🔲 🗖 💽	×
about:blank		•
ファイル(F)編集(E)表示(V)お気に入 閲覧の履歴の削除(D)…         Ctrl+Shift+E           InPrivate ブラウズ(D)         Ctrl+Shift+F           最終閲覧セッションを再度開く(S)	(A) ツール① ヘルプ(H) I ▲ ・ ページ(P)・ セーフティ(S)・ ツール(Q)・ 僅 最終閲覧セッションを再度開く(S)	»
InPrivate フィルター Ctrl+Shift+F InPrivate フィルター設定( <u>S</u> )	□! ポップアップ ブロック(P)     □    □     □   □    □    □    □   □   □    □   □   □    □    □   □   □	~
ポップアップ ブロック(P) SmartScreen フィルター機能(T) アドオンの管理( <u>A</u> )	<ul> <li></li></ul>	
互換表示設定( <u>B</u> )	■ 全画面表示(F) F11 ツールバー(T) ・	
このフィードの購請売(E) フィード探索(E) Windows Update(U)	エクスプローラー バー公	
開発者ツール(L) F12	おすすめサイト(G)	
Windows Messenger Display ieHTTPHeaders 接続の問題の診断	Windows Messenger Display ieHTTPHeaders 接続の問題の診断	
インターネット オプション(型)	🔂 インターネット オブション (Q)	

<u>
 Internet Explorer9/10/11 の場合</u>
 (1)メニューバー〔ツール〕ー〔互換表示設定〕①をクリックします。



2. 互換表示設定ダイアログにて以下の操作を行います。

- <u>-Internet Explorer8/9 の場合</u> (1)[互換表示で全てのWebサイトを表示する]①のチェックをはずします。 (2)[このWebサイトの追加]②の欄に以下を入力します。

fwd.ne.jp

(3)〔追加〕ボタン③をクリックし、〔互換表示に追加したWebサイト〕にURLが追加されたことを確認します。 (4)[閉じる]ボタン④をクリックします。

互換表示設定	
互換表示で表示する Web サイトを追加および削除できま ②	रेव.
この Web サイトの追加( <u>D</u> ):	<u> </u>
	追加( <u>A</u> )
互換表示に追加した Web サイト(W):	
	肖·Jβ余 ( <u>R</u> )
<ul> <li>マイクロソフトからの更新された Web サイトー覧を含める(U)</li> <li>□ 互換表示でイントラネット サイトを表示する(E)</li> <li>□ 互換表示ですべての Web サイトを表示する(E)</li> </ul>	<b>④</b> [ 閉じる© ]

## <u>•Internet Explorer10の場合</u>

(1) [互換表示で全てのWebサイトを表示する]①のチェックをはずします。

- (2)[このWebサイトの追加]②の欄に以下を入力します。
  - fwd.ne.jp
- (3)〔追加〕ボタン③をクリックし、〔互換表示に追加したWebサイト〕にURLが追加されたことを確認します。

(4) 【閉じる」ホタン(4)をクリックします。	
互换表示設定	×
互換表示で表示する Web サイトを追加および削除でき	ます。
(2)	3
追加する Web サイト( <u>D</u> ):	
	追加( <u>A</u> )
互換表示に追加した Web サイト( <u>W</u> ):	
fwd.ne.jp	削除( <u>R</u> )
□ すべての Web サイトを互換表示で表示する(E) 1	
☑ Microsoft から更新された互換性リストをダウンロードする(U)	
Internet Explorer のプライバシーに関する声明を読んで詳細	を確認する
	開じる(C)

<u>- Internet Explorer11の場合</u> (1)[このWebサイトの追加]②の欄に以下を入力します。 fwd.ne.jp

(2)[追加]ボタン③をクリックし、〔互換表示に追加したWebサイト〕にURLが追加されたことを確認します。

<u>(3)しましる」ホタン(4)をクリックします。</u>	
互换表示設定	23
互換表示設定の変更	
追加する Web サイト(D):	2
	追加(A)
互換表示に追加した Web サイト(W):	
fwd.ne.jp	削除(R)
<ul> <li>✓ イントラネット サイトを互換表示で表示する(I)</li> <li>✓ Microsoft 互換性リストの使用(U)</li> <li><u>Internet Explorer のプライバシーに関する声明</u>を読んで詳細</li> </ul>	を確認する
3	閉じる(C)

3. InternetExplorerを終了します。他に開いているInternetExplorerがあれば全て終了してください。

## ⑨Javaアイコンの表示方法

## <u>・JRE7またはJRE8の場合</u>

- 2. 「Java」をダブルクリックします。
- ※カテゴリ表示になっている場合には、

左側の「クラシック表示」(WindowsXPの場合は「クラシック表示に切り替える」)をクリックして表示してください。 Windows7のカテゴリ表示の場合は「プログラム」をクリックした後の画面に表示されます。



Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。

 (1)[詳細]タブ①をクリックします。
 (2)[その他]オプションの[システムトレイにJavaアイコンを配置]チェック・ボックス②をチェックします。
 (3)[適用]ボタン③をクリックします。
 (4)[OK]ボタン④をクリックします。
 以上で設定は終了です。

▲ Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細 ①	
<ul> <li>✓ 副の時にというディアンドレイにしないかいるととされ</li> <li>✓ 証明書が存在しないか1つのみ存在する場合にクライアンド</li> <li>✓ サイド証明書でホスト名が一致しない場合に警告する</li> <li>● 有効 - 必要であれば警告を表示する</li> <li>● 有効 - 必要であれば警告を表示する</li> <li>● 有効 - 必要であれば警告を表示する</li> <li>● 有効 - 警告を表示せずに、保護をかけて実行する</li> <li>● 有効 - 警告は表示しないが、信頼できないコードは実行し</li> <li>● 検証を無効にする(非推奨)</li> <li>高度なセキュリティ設定</li> <li>✓ ブラウザのキーストア内の証明書およびキーを使用する</li> <li>● 証明書失効以入KORUを使用して証明書の失効状態をチ</li> <li>✓ ブラックリストの大効チェックを有効にする</li> <li>✓ ブラックリストののLientHello形式を使用する</li> <li>● SSL 20互換のClientHello形式を使用する</li> <li>● TLS 11を使用する</li> <li>● TLS 12を使用する</li> <li>● TLS 12を使用する</li> </ul>	- J - J - J - J - J - J - J - J - J - J
Java Quick Starter	-
<	•
④ OK 取消	適用(A) 3

<u>《Java アップデートに関するメッセージ》</u> 電子入札システムにログインする際に、Javaのアップデートが必要とメッセージ表示される場合がありますが、 Javaをアップデートしないよう注意してください。 以下の手順にて、メッセージを回避してください。

## <u>英字表記の場合</u>

1. [Do not ask again until the next update is available.]のチェックボックス①にチェックします。

2. [Later]をクリックします。

Java Update Needed	
U	Your Java version is insecure.
	<ul> <li>Update (recommended)</li> <li>Get the recommended secure version of Java now from java.com.</li> </ul>
	<ul> <li>Block</li> <li>Block Java content from running in this browser session.</li> </ul>
	Later Continue and you will be reminded to update again later.
	o not ask again until the next update is vailable.

## <u>日本語表記の場合</u>

- 1.「次の更新が利用可能になるまでメッセージを表示しません。」のチェックボックス①にチェックします。
- 2.「後で」をクリックします。

Java Updateが必要	
Javaのバージョンは最新ではありま	せん。
→ 更新(推奨) 最新のセキュリティ・アップラ	"ートをjava.comから取得します。
<ul> <li>→ ブロック</li> <li>このブラウザ・セッションで、</li> </ul>	Javaコンテンツの実行をブロックします。
<ul> <li>◆ 後で</li> <li>続行し、後でもう一度更新を通</li> </ul>	知します。
⑦ 次の更新が利用可能になるまでメッセー     しません。	-ジを表示

## <u>《Java セキュリティ警告に関するメッセージ》</u>

電子入札システムにログインする際に、Javaセキュリティ警告が表示される場合があります。 以下の手順にて、メッセージを回避してください。

<u>JRE7Update15の場合</u>

- 1. 「リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します。」チェックボックス①にチェックします。 2. 「このアプリケーションでは次回から表示しない」チェックボックス②にチェックし、
- 2. 「このアフリケーションでは次回から表示しない」チェックホックス②にチェックし、 「実行」ボタン③をクリックします。 Javaセキュリティ警告

 このアプリケーションを実行しますか。
 ご使用のバージョンのJavaは安全ではなく、次の場所からアプリケーションが実行権限をリクエストしています。 場所: https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp
 このアプリケーションを停止する場合は「取消」を、アプリケーションの続行を許可する場合は「実行」をクリックしてください。
 下のボックスを選択し、「実行」をクリックしてアプリケーションを起動します
 リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します。
 実行 更新 取消
 ② ご このアプリケーションでは次回から表示しない

JRE7Update45の場合

1. 「リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します。」チェックボックス①にチェックします。 2. 「実行」ボタン②をクリックします。



<u>JRE8Update25の場合</u> JRE8より、セキュリティ警告が2回表示されます。 1.「実行」ボタン①をクリックします。

セキュリティ警告
このアプリケーションを実行しますか。 ご使用のJavaのバージョンは最新でなく、次の場所にある署名されていないアプリ ケーションが実行権限をリクエストしています。 場所: https://www.ebs-asp.fwdne.jp
詳細情報(M) 次のボタンを使用してJavaを更新することをお薦めします。このアプリケーションを停止する場合は「 <b>取消</b> 」を、アプリケー ションの続行を許可する場合は「実行」をクリックしてください。

2. 「実行」ボタン①をクリックします。

セキュリティ警告	x
このアプリケーション	を実行しますか。
こ使用 行権随 場所	のJavaのハーションは最新でなく、ハード・ドライフにめるアフリケーションが実 をリクエストしています。 : file://
	https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp
詳希田情幸服( <u>M</u> )	
次のボタンを使用して Jav. ションの続行を許可する場	遠更新することをお薦めします。このアブリケーションを停止する場合は「 <b>取消</b> 」を、アブリケー 合は「実行」をクリックしてください。
	① 実行(B) 更新(U) 取消

## ⑪Javaセキュリティ設定

Javaのセキュリティ強化に伴い、以下のようなメッセージが表示される場合があります。 Javaコントロールパネルより、セキュリティの設定をご確認ください。



## <u>・JRE7(Update45)の場合</u>

 $\sim c^{2}$ 

. . . .

1. 「スタート」ボタンを押してコントロールパネルをクリックします。 2. Java」をダブルクリックします。 ※カテゴリ表示になっている場合には、 左側の「クラシック表示」(WindowsXPの場合は「クラシック表示に切り替える」)をクリックして表示してください。 Windows7のカテゴリ表示の場合は「プログラム」をクリックした後の画面に表示されます。 🚱 (\_) マ 🚾 🕨 コントロール パネル 🕨 プログラム 🕨 コントロール パネルの... 🔎 既定のプログラムの設定 ۰ コントロール パネル ホーム デスクトップ ガジェット ガジェットをデスクトップに追加 システムとセキュリティ オンラインで追加のガジェットを取得 ネットワークとインターネッ ガジェットのアンインストール ト Windows によりインストールされたデスクトップ ガジェット ハードウェアとサウンド Ξ プログラム ٠ Java

(1)

 Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。 Javaコントロールパネルが表示されます。「セキュリティ」タブ①をクリックします。 セキュリティレベルを「中」②に変更して、「摘要」ボタン③をクリックします。

<u></u>

一般 更新 Java セキュリティ 詳細
✓ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)
セキュリティ・レベル
- 高(最小限の推奨)
最低セキュリティ設定 - セキュリティ・プロンプトが表示された後に、すべてのJavaアプリ ケーションを実行できます。
セキュリティ・プロンプトの復元( <u>B</u> ) 証明書の管理( <u>M</u> )
3
OK 取消 適用( <u>A</u> )

## ・J<u>RE8の場合</u>

JRE8を利用するには、コアシステムを利用するすべてのPCにおいて、 Javaコントロールパネル「例外サイト・リスト」に、ご利用頂く電子入札システムのURL(javaポリシー記載と同じ)及び 電子入札専用クライアントソフトウェア(各認証局が提供)のプログラムファイル名を設定する必要があります。 設定するURLや詳細の手順に関しては各認証局にご確認ください。

参考として、以下に直接追加する手順を記載します。

- 1.「スタート」ボタンを押してコントロールパネルをクリックします。
- 2. 「Java」をダブルクリックします。 ※カテゴリ表示になっている場合には、

左側の「クラシック表示」(WindowsXPの場合は「クラシック表示に切り替える」)をクリックして表示してください。 Windows7のカテゴリ表示の場合は「プログラム」をクリックした後の画面に表示されます。

€ - レパオ	ペル ▶ プログラム ▶       ▼ 「 ↓ 」ントロール パネルの… ♪
コントロール パネル ホーム	既定のプログラムの設定 ・ デスクトップ ガジェット
システムとセキュリティ ネットワークとインターネッ ト ハードウェアとサウンド	ガジェットをデスクトップに追加 オンラインで追加のガジェットを取得 ガジェットのアンインストール   Windows によりインストールされたデスクトップ ガジェット
<ul> <li>プログラム</li> <li>··· -····</li> </ul>	Java 🛈

- Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。

   「セキュリティ」タブ①をクリックして、「サイト・リストの編集」ボタン②を クリックします。

一般 更新 Java セキュリティ 詳細
✓ ブラウザでJavaコンテンツを有効にする(E)
御秋井 ノレロコ しーちい マグロ ケーション のみをし ロニット ペロ
MARATEST CONTRACTOR CONTRACT
非常に高(V) - 証明書が失効していないことを確認できる場合にかぎり、信頼できる認証局の 証明書により識別される Javaアプリケーションのみ実行を許可されます。
<ul> <li>高(H) - 証明書の失効ステータスを確認できない場合でも、信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションは実行を許可されます。</li> </ul>
例外サイト・リスト
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されま
9° 「サイト・リストの編集」をクリックします
アイテムをこのリストに追加します。 サイト・リストの編集(S)
セキュリティ・プロンプトの復元(R) 証明書の管理(M)
<b>OK 取消</b> 適用( <u>A</u> )

## (2)「場所」欄①にご利用頂く電子入札システムのURL(javaポリシー記載と同じ)及び 電子入札専用クライアントソフトウェア(各認証局が提供)のプログラムファイルが置かれている フォルダ名を登録します。

(注意)JRE のインストール先を変更した場合は、以下フォルダ名が変わりますのでご注意ください。

働外サイト・リスト	×
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。	1
「注意加」をクリックすると、アイテムがこのリストに注意加されます。	
<u>\Btuck</u>	
■ FILE7ロトコルおよびHTTP7ロトコルは、セキュリティ・リスクと見なされます。可能な場合はHTTPSサイトを使用すること	こをお席のします。
ОК	取消

電子入札専用クライアントソフトウェアは以下フォルダ名を「置換条件」(※)に従い変換したものを登録します。

<u>32bit PCの場合</u>
 フォルダ名 : C:¥Program Files¥Java¥jre1.8.0\_25¥lib¥applet¥
 置換後のフォルダ名: file:///C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0\_25/lib/applet/
 <u>64bit PCの場合</u>
 フォルダ名 : C:¥Program Files (x86)¥Java¥jre1.8.0\_25¥lib¥applet¥
 置換後のフォルダ名 : file:///C:/ Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0 25/lib/applet/

(※)置換条件

- ・半角スペースがある場合は、「%20」に置き換える
- ・「¥」は「/」に置き換える
- ・先頭に「file:/」を付ける

登録する際に、以下のようなセキュリティ警告がでる場合があります。「続行」を選択してください。



(3)登録が完了したら、「OK」ボタン①をクリックします。

次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。
場所
📔 file:/C:/Program Files/Java/jre1.8.0_25/lib/applet/
https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/CALS/
<u>追加(A)</u> 弾隊(B) 弾隊(B) 「ILEプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リスクと見なされます。可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお薦めします。

※本手順は参考資料です。認証局によって登録するURLが異なる場合があります。 詳細の設定方法に関しては、ご利用の各認証局へお問い合わせください。

w l